

9 月号

2013(平成25)年
9月9日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニューズレター
[ネオス] No. 22

発行元：学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>

■巻頭特集……02

プロジェクトが熱い

●入魂の激漕／ドラゴンボートプロジェクト
●王者の風格／ソーラーカープロジェクト

■新連載 学園の源……06

走り出した「大阪鉄道学校」

■スームアップこの人……07

鉄道工学は経験工学

さらなる技術の向上のために

大阪産業大学工学部交通機械工学科

大津山澄明教授

果てしなき情熱



巻頭特集

プロジェクトが熱い

大阪産業大学が社会人基礎力の育成を目指す「プロジェクト共育」が熱い。この夏、ドラゴンボートプロジェクトは「日本国際ドラゴンボート選手権大会」のB決勝で3位に入賞。ソーラーカープロジェクトは「ソーラーカーレース鈴鹿」で総合優勝した。プロジェクトとは、学部・学科や大学院、短期大学部の枠組みを超えた全学的な取り組みで、学生自ら問題解決能力が養えるプログラムだ。猛暑の2013年、プロジェクトにかけ、熱い戦いを繰り広げた仲間たちを追った。



ドラゴンボート「常翔喜龍」

ドラゴンボート
プロジェクト

入魂の激漕！

大阪産業大学人間環境学部スポーツ健康学科の「ドラゴンボートプロジェクト」が上昇気流に乗っている。チーム名は「常翔喜龍」だ。7月14日、天満橋八軒家浜であった「天神祭奉納2013日本国際ドラゴンボート選手権大会」のB決勝で3位に入賞。59秒59とチーム最速記録を達成した。この大会が引退試合になった元主将、西村まりなさんと、元副主将の牧瀬涼介さんの4回生コンビに、「龍舟」にかかる思いを語ってもらった。



ドンドンドンドン。リズムカルな太鼓の音とともに、水しぶきを上げて、ぐんぐん進む船体——。日本国際ドラゴンボート選手権大会に、「常翔喜龍」は男子11人、女子11人、計22人で男女混合の部に出場。大川に特設された、天満橋～中之島剣先公園の250㍍で速さを競った。西村さんは太鼓手、牧瀬さんは重要な位置の漕ぎ手を務めた。

同じコースでも、時間帯や気象条件によって潮の向きが違うレース。大会当日も横波が強く、「船体を直すのが大変でした」と西村さん。22人がひとつになって苦労して勝ち取った、1分を切る好タイムだった。

体幹トレーニングは各自で

ドラゴンボートプロジェクトは2008年度にスタート。半数のメンバーが、ほかの体育会クラブとの掛け持ちであるため、筋トレは各自で取り組むようにしている。メンバーが集まるのは週2回。Wellness2008内の室内プールで練習する。ほかに、大阪北港ヨットハーバーで実漕練習を行うこともある。

ドラゴンボートは「体幹」がカギになる。西村さんは「つい腕だけで漕いでしまいが、全身を使って漕がないと、たくさんの量の水をつかむことができません。水の量がスピードにつながってきます」と説明する。だから、体幹トレーニングが欠かせない。今回の試合で西村さんは引退するが、「2回生がとても成長していて、たのしかったです。

4回生にアドバイスする子もいたんですよ」と笑う。

メンバーの呼吸がひとつに

牧瀬さんは陸上競技出身。「自分の力だけでは無理で、全員が力を合わせてレースを展開するのがドラゴンボート。一人でもずれるとダメなので大変ですが、それがまた楽しいです」。個人競技の陸上とは違う、チームプレーの醍醐味を語る。



左から田中譲教授、西村まりなさん、牧瀬涼介さん

指導にあたっている田中譲教授は「フォームの追求、体力・持久力づくりなど、毎年課題となるテーマは違います。これらはメンバー全員で設定しています。メンバーが自分たちで課題を解決していく——私はそのバックアップをしているんです」と話す。

ドラゴンボートに魅せられた西村さんと牧瀬さん。2人とも卒業後は社会人のチームに入って活動を続ける予定で、「新しいチームで世界を目指します」と張り切っている。



SUZUKA CIRCUIT

MIT

王者の風格

大阪産業大学のソーラーカープロジェクトは8月2〜3日に行われた「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUPソーラーレース鈴鹿2013（国際格式）」の最高峰クラスとなるトリウムクラスに参戦し、2年連続7度目となる総合優勝に輝いた。

ソーラーカーレース鈴鹿2013

ソーラーカー
プロジェクト



8月2日にはレースに向けた厳しい車検および本戦におけるスターティンググリッドを決めるタイムアタックが行われ、本学ソーラーカープロジェクトが昨年度に樹立した鈴鹿サーキット国際レーシングコースにおけるソーラーカー部門のコースレコードを大幅に更新し、翌日に控えた決勝レースでのポールポジションを獲得した。

5時間耐久の決勝レースは、8月3日正午に灼熱の日差しの中、1stドライバーの三浦愛さん(機械工学科2012年卒、現・株式会社エクセディ)によって、スタートが切られた。途中、往年のライバルとされる芦屋大学チームと抜きつ抜かれつのデッドヒートが続いたが、終始、本学チームが首位を譲ることはなかった。

今年度のレースは晴天に恵まれ、太陽

光をエネルギー源とするソーラーカーにとっては格好のレースコンディションとなったが、炎天下の車内は非常に高温となり、ドライバーに負担のかかる展開が続いた。

本学チームは他チームの様子を意識しながらも自分たちの立てた目標通りのペースで周回を重ね、開始から3時間で、ドライバーを三浦愛さんから、2ndドライバーの三浦純さんへ交代した。

また、ピットインの際にはフロントタイヤ2輪の交換を行ったが、ここでも日頃の練習の成果が発揮され、チームメンバーの迅速な作業により首位を譲ることのないままコースに復帰した。

レース終盤には2位を走る芦屋大学チームに20秒差まで詰め寄せられたが、余力を残していた本学チームはラップペースを

上げ、そのまま逃げ切り最高周回数でチェッカーフラッグを受けた。これにより本学チームは総合優勝の栄冠に輝いた。

Ene1-GPでも健闘

また、8月4日に行われたEne1-GPには、Electric Vehicle プロジェクトと新エネルギービークルプロジェクトが参戦した。Electric Vehicle プロジェクトは、昨年の雪辱を果たすべく大会に臨み、終始安定した走りで行って総合2位を獲得。

乾電池自動車部門に参戦した新エネルギービークルプロジェクトは、終始安定したエネルギーマネジメントと学生たちの懸命な努力が実り、KV-40 チャレンジ KV-1クラスでクラス3位、KV-2クラスで総合2位、大学・高専・専門学校部門におけるクラス優勝を飾った。



チーム一丸で戦った

ソーラーカーレースでチーム代表を務めた村上雅享さん(入試課事務員・プロジェクト支援兼務)と、乾電池自動車部門でチーム代表を務めた須藤隆さん(教育支援センター助手)は声をそろえて「今年は例年になく厳しい環境での戦いとなりましたが、これらの成果は、応援してくださった皆さまのおかげであり、何よりも自分たちの夢に向かって一生懸命に頑張る学生たちの努力の成果です」と笑顔で語り、ソーラーカープロジェクト学生代表を務める交通機

械工学専攻2回生の小野田隼人さんは「今年はレギュレーションの変更があり連覇を達成できるかの不安がありましたが、優勝することができ大変うれしく思います。この勝利は暑いなか頑張ってくれたドライバーのお2人と、指導していただいた先生やOB・OGの方々、参加する学生がチーム一丸となって戦うことができた結果だと思います。大阪産業大学で3年間ソーラーカーに携わることができたことは私にとっての誇りです!」と話した。





学園の

～瀬島学長が語る大産大ヒストリー～

NeOSUはこの春、創始者・瀬島源三郎による建学の精神を取り上げ、在学生の皆さんから多くの反響をいただきました。意外と知られていない大阪産業大学のスピリッツとヒストリー——。NeOSUはここに焦点を当て、その時代時代の流れを追いつながら、引き続き皆さんに紹介していきます。案内役は、瀬島順一郎学長です。

下寺町校舎(昭和4年9月兎我野町から移転)



走り出した 「大阪鉄道学校」

鉄道マンへの登竜門

1928(昭和3)年、瀬島源三郎は大阪鉄道学校を設立しました。折しも神戸から大阪鉄道局が移転し大阪が西日本の国鉄の中心になったのです。大阪鉄道学校は鉄道マンになりたい若者の心をつかみました。今、兎我野町といえば梅田の繁華街で学生やビジネスマンであふれている所です。当時は香梅女学校の跡地を借りて授業をしたそうです。150人の生徒を募集したそうですが、2年目は500人もの生徒が入学し、教室は生徒を収容できなくなりました。そのため、天王寺区下寺町の工場跡地を借り受けて移転しました。1929(昭和4)年の7月のことです。

このころはニューヨークの株が大暴落し、そのあおりで日本も就職難の時代でした。失業者が300万人といわれました。「大学は出たけれど」職がないといわれた時代です。高い教養より、安定した実務を求められました。鉄道職員になることは当時大変難しかったのです。ですから、大阪鉄道学校は広島や島根といったところからも受験生が来しました。先見の明があったんでしょうね。

1000人の引っ越し行列

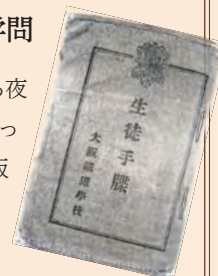
やがて、下寺町校舎も狭くなり、今度は旭区の大宮校舎に移転することになりました。このころ生徒数は1000人を越えていたが、彼らは、何と自分の机と椅子を持っておよそ10³の道のりを歩いて引っ越したというのです。今ではおよそ考えられないことですが、生徒たちは新しい校舎に胸を弾ませながら歩いたのです。1000人の奇妙な

行列に警官も出て交通整理をしたといいます。今ならテレビ局が来て大騒ぎになるでしょう。のんびりした時代ですね。

自分で働いた金で買った学問

昭和10年ごろは、まだ働きながら夜間の学校に通っていた苦学生も多かったようです。もちろん最近まで大阪産業大学も2部という夜間部がありました。夕方の6時ごろから授業が始まり、10時前までありました。もう20年近く前のことですが、姫路から通学していた2部の学生がいました。教職課程を履修していたので10時ごろに授業が終わって家に帰ると深夜12時ごろになると言っていました。彼はプロボクサーでしたが、練習もしながら勉学に励み、いまでは立派な高校の先生になっています。さて、その昔は、昼間は弁護士書の書生をしながら大阪鉄道学校の夜間部に通っていた生徒もいました。校長の瀬島源三郎も夜間部で勉強したため、このような苦学生を大切にしようです。

どうですか学生諸君！ 君たちは誰のお金で学問を買っているのですか？



創立当時の生徒手帳



大阪鉄道学校校旗
(昭和6年3月、
第2回卒業生寄贈)



瀬島 順一郎(せじまじゅんいちろう) 1947(昭和22)年、大阪府守口市生まれ。祖父は「大阪鉄道学校」(現大阪産業大学)の創立者・瀬島源三郎。早稲田大学教育学部卒業、慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻修士課程修了。2002(平成14)年9月大阪産業大学・同短期大学学長就任。2006(平成18)年9月学長任期退任。学長退任後、大阪産業大学教養部教授、社団法人大阪総合医学教育研究所理事兼カウンセラー、大阪産業大学学生相談室室長兼カウンセラーを務める。2013(平成25)年8月、学長に就任。



さらなる技術の向上のために 鉄道工学は経験工学。

大津山教授が研究する鉄道工学とは、車両の技術開発や乗り心地・安全性向上などを扱う学問です。以前は33年間国鉄とJRに勤め、鉄道一筋に生きてきた先生に、鉄道に対する思いや、学ぶ上で大切なことを聞きました。

おおつやま すみあき 1954年、熊本県生まれ。1978年、京都大学工学部機械工学科卒業と同時に、国鉄(JR)に就職。2000年3月、金沢大学にて工学博士の学位を取得。2011年4月より大阪産業大学工学部交通機械工学科の教授に就任。専門分野は鉄道工学。主な研究テーマは鉄道車両の運動および振動の解析。現在、学科・専攻主任を務める。日本機械学会に所属。



大阪産業大学工学部交通機械工学科
大津山澄明 教授

試行錯誤の500系開発

1964(昭和39)年10月1日、この日が私にとって鉄道に目覚めた日だと言っても過言ではありません。東海道新幹線が開通した日です。当時私は小学校の5年生、同年に開催された東京オリンピックのニュースと共に、今でも強く心に残っています。

大学の工学部を卒業後、祖父も父も職員だった国鉄(JR)に入社。主に車両の技術開発に携わりました。印象深いのは、新幹線500系の開発ですね。企画段階から10年ほどをかけて完成に至りましたが、最も苦心したのは、時速300kmという高速に耐えうる車両の設計です。とても長い前頭部の形と円形に近い断面型は、高速化に伴う騒音対策と、トンネルを抜ける時に受ける空気圧を想定して設計されましたが、そこに至るまでは試行錯誤の繰り返しでした。

デザインのにもとてもシンプルで美しいと自負していますが、これは機能性を突きつめたからこそその形。美しいデザインと優

れた機能は両立するのだと思います。

現場を体験してもらう理由

大学では主に、鉄道のしくみや車両振動を減らした安全で乗り心地の良い車両開発について教えています。学生には、車両の縮小模型に乗ってもらったり、定期的に鉄道会社の工場を見学してもらったり、現職の技術者の話を聞かせています。なぜなら鉄道工学は経験工学だから。工学的な原理・原則を座学で学ぶことはもちろんですが、鉄道工学において最も大切なのは「経験」です。できる限り“本物”に触れてリアルな経験をしてほしいと考え、より実践的な授業を行っています。

鉄道は日々進化しています。今までにないものを作っていくわけですから、より現場に近いものや人に触れることで、従来の原理・原則をはるかに上回る発見が必ずある。鉄道に関するさらなる技術向上のためにも、学生にはより多くの経験値を上げる機会を与えたいと思っています。



松宮 慶昭

人生は「今、ここ」から

(いつやるか?)今でしょ!

カリスマ予備校講師のこのシンプルなメッセージは今年の流行語大賞を受賞しそうな勢いですが、心理学とその関連分野にこれと近い言葉があります。それは「今、ここ」(= here and now. 反対語は「昔、どこかで」there and then)です。

人生で苦難、重要な決断に直面した時、人はしばしば過去の経験(多くは失敗の体験)にとらわれ、冷静に考えれば起こりそうにない悲惨な未来に恐怖しがちです。「今、ここ」で何がベストであるか考えることを止め、消極的で安易な行動を選択したり、変化を嫌い現状にしがみついたりしてしまいます(there and thenの思考と行動)。でも当たり前ですが、過去は変えられないし、明日のことですら未来予測はできません。

結局のところ、人生を変え未来を創造する唯一の方法は「今、ここ」に集中して決断・行動することなのです。変えようのない過去、起こらないであろう悲惨な未来からではなく「今、ここ」の自分を受け入れ、まず人生を一步前に進めるのです。ひとたび決断・行動すれば、新しい「今、ここ」が生じるので、そこで新たな決断・行動をする。その結果、再び新しい「今、ここ」が生じるので、また新たな・・・

本学から見える生駒山地の風景と同じく、一步進むたびに人生の風景(=今、ここ)は変わります。その積み重ねの先に「あなたらしい人生」が次第に見えてくるでしょう。

(いつやるか?)今でしょ!

まず

行動してみよう!

キャリアカウンセラーの
2人からアドバイス!

学生の皆さん。暑さのなか、就職活動に走り回っている人もいるでしょう。準備をしながら不安でいっぱいの人人もいるかもしれません。就職活動を乗り切る心構えについて、本学キャリアカウンセラーの松宮慶昭さんと服部貴子さんにうかがいました。

就職活動でうまくいかないと怖いのは、どうしたらよいのかわからなくなり身動きがとれなくなってしまうことです。就職活動において、あなたの評価は企業が決めます。企業からの評価が高くないからこそ、就職活動がうまくいかず内定を獲得することができないのです。そんな時は「企業から評価されない原因はないだろうか?」と振り返ってみるとよいでしょう。企業選択の段階で、応募書類の段階で、もしくは面接の段階でつまづいているなど、人それぞれ何かしらの原因があるはずです。

キャリアセンターでは履歴書の添削や面接の練習などはもちろん、就職活動に関するさまざまな相談を受け付けています。一人で考え込んでしまうと「自分には何が足りないのか」、「何が悪いのか」、ますますわからなくなり動けなくなります。もしも、あなたが「どうすれば就職活動がうまくいくだろうか」と悩んでいるのであれば、キャリアセンターでヒントを探してみませんか? 人に話すことで自分だけでは見えなかった部分が見えてくることもあります。

「結果」を変えるためには「自分」を見つめ直し、行動し続けるしかありません。自分で考えても答えが出ないときは迷わずキャリアセンターへ相談に来てください。あなたを必要とする企業は必ずあります。一緒に頑張りましょう。

「自分」を見つめ直し、
行動し続けることが大切!

服部 貴子



3回生の就職行事が本格的に始まりました！

就職戦線に乗り遅れないためにガイダンスやセミナーに出席して、万全の準備を行いましょう。

3年生対象(短大は1年生対象)の第1回就職ガイダンスを、5月14日に実施し、出席者は、1,322人でした。ガイダンスでは、本学のオリジナル就職ガイドブックと、SPI対策本を無料で配布し、現在の就職環境と今後のスケジュールを説明しました。前期は、SPI試験、SPI試験フォロー講座、一般常識テスト、職業適性検査(R-CAP)、外国人留学生ガイダンス、女子のための就職講座などのガイダンスを開催しました。7月2日には第2回就職ガイダンスを実施し、4年生の就職内定者体験談や自己分析の重要性を説明し、3年生は先輩のリアルな就職活動体験を真剣に聴いていました。今年の3年生は、12月から企業の広報活動が始まり、本格的に就職活動が始まります。準備をしっかりと行ってください。

後期の主なキャリア関連行事

日程	行事名
2013年	9月 (学部・学科別)就職ガイダンス
	10月 業界研究・職種研究講座／内定者アドバイザーセミナー／OB・OG講演会／R-CAP解説会・フォロー講座①②／就活準備まるごとセミナー
	11月 履歴書・エントリーシート対策講座①基礎編②応用編／業界研究セミナー①～⑥／面接マナー対策講座／グループ面接グループディスカッション対策講座①／就職履歴書写真撮影①②
	12月 公務員セミナー／自動車産業セミナー／就職履歴書写真撮影③
2014年	2月 スキルアップ合宿／大型合同企業説明会／グループ面接グループディスカッション対策講座②／卒業生社長講演会
	3月 ミニ一般常識テスト・解説／学内合同企業説明会

今後の行事は **大産大 キャリア行事** **検索**

4年生内定者からのアドバイス

- 知っている企業だけでなく、知らない企業も研究して視野を広げる。
- 就職活動は出遅れないこと。
- 早い段階から危機感を持ち、積極的に活動する。
- スキルアップ合宿やインターンシップに参加し、電話の受け答えや自己PRの仕方がわかった。

本講座の受講生は内定率が高いことが実証されています

2013年度 後期

就職活動準備特別講座のお知らせ(全学年対象)



●日時 2013年9月26日(木)から 毎週木曜日5限目

●場所 0302教室

●講座内容(予定)

エントリーシート対策、自己PR作成の極意ほか

syukatu@cnt.osaka-sandai.ac.jp
または、QRコードからメール申し込みしてください。

学籍番号・氏名・携帯番号は忘れずに!



試験結果報告書(就職活動報告書)

氏名	たけやま ゆきこ 竹山 由希子		
学部名	人間環境学部スポーツ健康学科		
内々定先企業名	大和ハウス工業株式会社		
特技・資格	特技: 剣道 資格: 剣道三段/ホームヘルパー 2級		
学生時代に力を入れたこと	体育会 剣道部での活動		
就職活動の概要	プレエントリー: 26社、エントリー: 26社 説明会参加: 7社、選考参加: 6社、内々定: 2社		
OB・OG訪問	訪問なし インターンシップ経験 経験なし		
他に回った業界・企業	住宅/中古車/アミューズメント		
説明会	3月18日 2時間程度		
最終面接	5月1日 作文/個人面接/グループディスカッション		
志望動機	住宅関係をみていて、大和ハウス工業株式会社の企業理念にひかれた。		
企業の採用の特徴	元気でハキハキしていること。目標があること。		
就職活動で役立ったもの	大学の就職スキルアップ合宿		
筆記試験対策	言語・非言語を勉強しておくこと		
面接試験で多かった質問	宅建のことや、大学でやっていることや、成績、卒論などを聞かれた。		
成功談・失敗談	成功: 面接で目を見て話して会話を途切れさせない。失敗: もっと企業研究が必要。		
先輩へのアドバイス	企業研究をしっかりとすること。学校推薦は成績やガイダンスの参加などに関わってくるので、極力たくさん参加すること。営業は元気でハキハキしている人を好むので、面接では元気に話をする。スポーツ関係のことをやっている人は忍耐力を認められるので効果があります。あとは、自分に自信を持つこと。		

氏名	よしかわ ともあき 吉川 友章		
学部名	工学部電子情報通信工学科		
内々定先企業名	住友電設株式会社		
特技・資格	普通自動車免許、書道・模範生	学生時代に力を入れたこと	イベント企画団体、アルバイト、文武両道
就職活動の概要	プレエントリー: 150社、エントリー: 60社 説明会参加: 20社、選考参加: 15社、内々定: 1社		
OB・OG訪問	訪問なし インターンシップ経験 経験なし	他に回った業界・企業	サービス業
説明会	4月15日 2時間程度		
1次面接	5月9日 数学試験。テストセンターにてSPI。学生2+人事2の面接40分(志望職種の仕事内容理解。学生時代に取り組んだ事、体力に自信はあるかどうか)		
2次面接	5月21日 学生1+人事2の面接30分(海外事業への積極性。学生時代に取り組んだ事について詳しく聞かれる)		
最終面接	5月11日 学生1+人事1+役員2の面接20分(今、自分が受けている各同業他社のいいところ。志望職種の仕事内容を理解できているかどうか。趣味等のユニークな話など)。※各面接の人事担当者の役職は異なる。		
志望動機	建物に命を吹き込むという大仕事を現場の最高責任者である施工管理者の立場に立つ仕事内容に大変魅力を感じ、将来地図に残る大きな仕事ができたいと感じたから。		
企業の採用の特徴	人物重視。やる気。向上心。現場のリーダーとして仲間をまとめ、引っ張っていく事ができるかどうか。		
就職活動で役立ったもの	ツイッター。Facebook。リクナビ。マイナビ。キャリアセンター。就活雑誌。SPI問題集。		
筆記試験対策	SPI。数学試験 面接試験で多かった質問 (大学入試レベルを完璧に)	得意のアメリカンジョークを一つ披露	
成功談・失敗談	この仕事を本当にやりたいという気持ち、そしてそれをやりたいと思ったしっかり芯のある過程の話。		
先輩へのアドバイス	いろいろな業種を受けるより、同業を受けていく方が業界の仕事の理解が進み、面接時に相手に自分の言葉で詳しく話せます。あとは、やる気と向上心を示せるかどうかだと思います。		

大産大附属中学・高等学校



アメリカ修学旅行
異文化に触れる

高校

産大附属高校国際科コースの2年生が7月9～17日、修学旅行でアメリカ合衆国のポートランドとシアトルを訪れた。

ポートランドでは、オレゴン博物館や州議事堂、コロンビア溪谷、マルトノマの滝など観光名所を見学した。また、4～6日



目はそれぞれホストファミリーにお世話になり、生活の中でアメリカの生活習慣などの文化に触れることができた。6日目にはシアトルに向かい、大リーグの観戦やボーイング工場の見学、シアトル市内のバイクブレイスマーケットなどを楽しんだ。

今回の修学旅行で、多くの外国の人との出会いを通して、日本と外国との文化の違いを知ったり、自分自身の価値観が変化したりと、貴重な経験をすることができた。

全国の舞台でも伸び伸び チアリーディングチーム

高校

産大附属高校のチアリーディングチーム FIGHTING ANGELSは7月15日に行われた関西チアリーディング選手権大会 高等学校の部で6位に入り、Japan Cup 2013進出を果たした。

8月23日に国立代々木競技場 第1体育館で開催されたJapan Cup 2013では、全国から勝ち上がった強豪校が華麗な演技を披露する中、素晴らしいパフォーマンスを見せ、フライデートーナメントで35校中15位と大健闘した。



全国2位の大健闘！ 少林寺拳法部 河原さん

中学

産大附属中学3年の河原やよいさんが、8月17～18日、香川県丸亀市で開かれた第7回全国中学生少林寺拳法大会で準優勝を果たした。河原さんは昨年の同大会で優勝しており、2連覇の期待がかかる中、僅差で優勝を逃した。

堂々とした演武は評価が高く高校進学後も期待されている。



左から木下さん(2年)、河原さん(3年)、西井さん(2年)

歴史と自然 肌で学ぶ ニュージーランド研修

中学

産大附属中学3年の61人は、5月16～23日、南半球にある大自然の国・ニュージーランドを訪れた。

一行は関西国際空港から約11時間かけてオークランド空港を目指した。ニュージーランドは初秋の過ごしやすい気候で、生徒たちは各地で大自然に触れ、のびのびと生活する動物たちと楽しい時間を過ごした。

17日からは2泊3日でファームステイ。ケンブリッジ市内のホストファミリーに迎えられ、農家の人々や牧場の羊たちと触れ合った。20日はロトルアとプタルで学校交流会。現地の子どもたちとスポーツや歌、ダンスなどを通して交流した。このほか、ニュージーランド最大の湖・タウポ湖周辺や、美しい鍾乳洞で知られるワイトモ洞窟を見学し、大自然の素晴らしさに感嘆の声を上げた。

最終日はオークランド近郊の森林を散策した後、海辺のレストランでランチを食べた。生徒たちは、たくさんの思い出と出会った人々への感謝を胸に、ニュージーランドを後にした。

語り継がれる古典の魅力

教育講演会

高校
中学



降壇し、生徒と同じ目線で素読をする安岡定子氏

8月22日、桐蔭中学・高校の全校生徒を対象に安岡定子氏による『論語』の講演会が桐蔭アリーナにて行われた。

戦乱の世にあっても理想の政治を行うために「仁ー思いやりの心」を持った人材を育てようとした孔子の人物像についての話のあと、本校生徒のために選りすぐった章句をいくつか取り上げ、寺子屋方式の素読も体験した。生徒たちが大人になって2500年間読み継がれてきた古典の魅力を再認識した時に、この日の講演を思い出すだろう。

安岡定子氏略歴

安岡活学塾専任講師。『論語』の面白さを伝えるため、「こども論語塾」をはじめ、全国各地で子どもから大人まで『論語』の講義をする。祖父は「平成」の元号を考案した漢学者の安岡正篤氏。

講演を聴いて

●中1

- ・皆が目前のことに必死になって自分、自分、自分と自分のことばかり言っている中で、孔子の考えはすごいと思った。
- ・孔子が良い国を作るために教育に力を入れたということが印象に残った。現代でも教育がしっかりと受けられない国はあまり良い国になっていない。
- ・勉強だけで生きてもだめで、思いやりが大事だということが改めてわかった。

●中2

- ただの物知りではなく、志を持って人に伝えることができる人間にならなければならないと思った。

●中3

- 一生考えられる人になり続けてくださいという言葉が印象に残った。

●高1

- ・言葉はその人そのものを表すので、これから自分が口にする言葉は否定的なものは言わないようにしようと思った。

- ・優しい人になりたいと思った瞬間からその人は優しい人になっている、という言葉が心にしみた。

●高2

- ・自分に見合った人にしか出会わないということ。素敵な人に出会えるように、自分も素敵な人になろうと思った。
- ・自分が嫌だと思えることは人にはしてはならないということが、孔子の言葉だと知って驚いた。
- ・将来の夢は第一に自分のためであり、自分で決めるものと改めて感じた。

●高3

- ・勉強は孤独ではないということ。受験勉強中の今だからこそ、共にがんばっているクラスメイトがそばにすることが心強い。
- ・たとえ周囲の人と意見が違って、正しい道を選べば、その時は孤立しても必ず理解してくれる人が現れる、ということが心にしみた。人に流されないようにしたいと思った。



ロケット&模擬衛星 打ち上げに成功！

高校
中学

桐蔭中学・高校の生徒が8月7日、和歌山県コスモパーク加太で、(株)創機システム

ズのサポートを受けて、小型実験ロケット&模擬衛星の打ち上げを行った。

参加したのは、ロケット研究部員や総合プロジェクトワークのロボット講座を受けている高校2人、中学10人の計12人。

全長およそ2mのロケットは、上空およそ300mまで上がり、生徒が製作した模擬衛星もデータを収集しながら無事地上へ到達。衛星に内蔵した写真撮影システムも、パラシュートのヒモが絡まって一部作動しなかったものの、上空写真の自動撮影は成功した。参加した生徒たちには、将来につながる貴重な体験となった。



全日本吹奏楽コンクールへ 6回目の出場決める！

高校

桐蔭高校吹奏楽部は、8月25日に和歌山県民文化会館で開催された第63回関西吹奏楽コンクールに出場し、金賞受賞と関西代表として全日本吹奏楽コンクールへの6回目の出場を決めた。

コンクールには、関西各県から22校が出場。金賞に6校、銀賞に13校、銅賞に3校が輝き、金賞のうち大阪桐蔭、淀川工科、近畿大学附属高校の3校が全日本コンクールへの出場権を獲得した。

10月27日に名古屋国際会議場で開催される全日本吹奏楽コンクールでは、4回目の金賞に挑む。

2年連続甲子園出場 堂々のベスト16

硬式野球部

高校

高校硬式野球部は、8月8日から開催された第95回全国高校野球選手権記念大会に、2年連続7度目の出場を果たした。昨年度王者の貫禄で大阪大会を勝ち抜き、出場した選手権大会では史上7校目の夏連覇を目指したが、全国ベスト16という結果で「桐蔭の夏」は幕を閉じた。

●大阪大会

大阪桐蔭 9-2 大手前
大阪桐蔭 4-1 箕面学園
大阪桐蔭 4-3 阪南大
大阪桐蔭 9-0 狭山

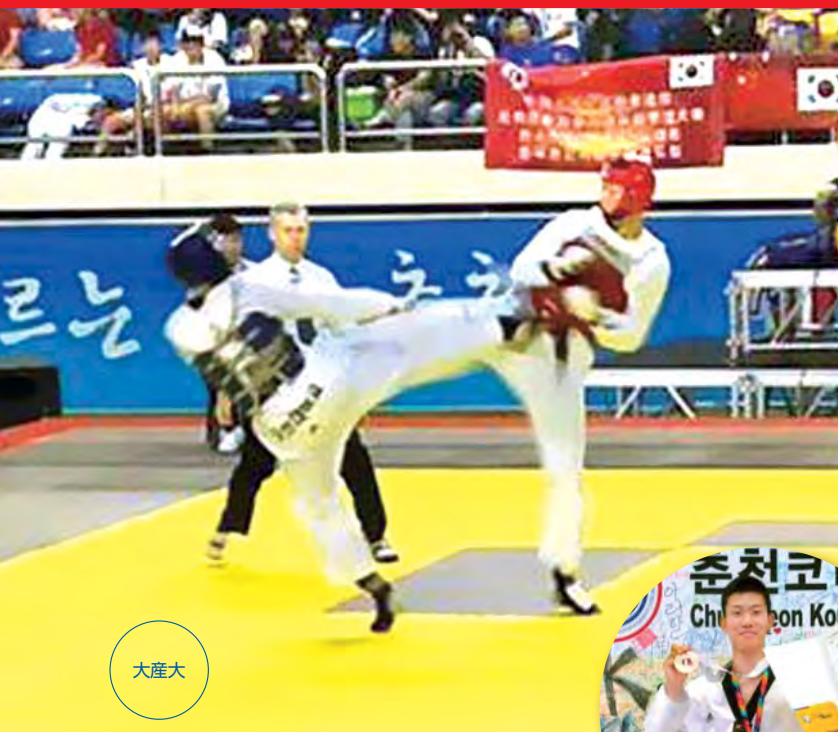
大阪桐蔭 8-6 上宮太子
大阪桐蔭 7-1 関西創価
大阪桐蔭 5-1 履正社

●全国大会

大阪桐蔭 10-2 日本文理(新潟)
大阪桐蔭 4-3 日川(山梨)
大阪桐蔭 1-5 明徳義塾(高知)



8/30~9/8まで台湾・台中市で開催される第26回U-18(18歳以下)ワールドカップの日本代表監督に西谷浩一監督が選ばれた。また、選手として森友哉主将が出場する。



大産大



江畑さんが KOREA OPEN大会で3位

人間環境学部スポーツ健康学科3回生の江畑秀範さんが7月8日、韓国・春川市で行われた「CHUNCHEON KOREA OPEN INTERNATIONAL TAEKWONDO CHAMPIONSHIP 2013」に出場し、80㎏以下級で3位に入賞した。

KOREA OPEN大会は2年に1回開かれる世界ランクのポイントがかかった大会。今回は50カ国から3000人が出場し、うち80%以下級には36人が挑んだ。江畑さんは2年前、初戦で当時世界ランク1位だったイギリス代表の選手に手も足も出せず負けてしまい、「私にとっては大変悔しかった大会、また、こわい印象しか残らなかった大会でした」。今回、試合会場に入った時、記憶がよみがえり、緊張して鳥肌が立ったという。

「しかし、確実に練習してきた自分に自信を持つと、平常心で試合に臨みました」

江畑さんは初戦から韓国選手と対戦。「テコンドーが国技である韓国選手はオーラもあり、技術もうまい人ばかりですが、初戦は勝ち上がることができました」

初戦で、ほとんどの外国の選手が敗退し、韓国選手ばかりが勝ち上がってきた。そんな中、江畑さんは2回戦、3回戦、4回戦と韓国選手相手に勝ち進んだが、準決勝でも韓国選手と当たり、1点差で惜しくも敗れた。「課題がたくさんみつかったので、満足しています」と江畑さん。「今回は本当に小さな応援が私にとって力となりました。次からも勝っても負けても、悔いることなく、楽しんでいけたらと思います」と話していた。

鈴鹿クラブマン 耐久300kmでクラス3位

大産大

レーシング車両製作プロジェクト

レーシング車両製作プロジェクトは7月6～7日、鈴鹿サーキットで行われた鈴鹿クラブマンレース Rd.4 Endurance Stage 300km耐久レースに参加し、クラス3位という成績で完走した。今後の活動として、レースをもっと知り、実践経験を積むために、オプション耐久レース参戦を計画している。



学生力アップに貢献!

大産大

エルダープロジェクト

エルダープロジェクトは多様な活動を通して、学生力の向上を目指している。

今年度はまず、4月4日の新入生歓迎会で「お茶会&ビンゴゲーム」を実施。5月30日の「学内交流イベント」では、学部・学科関係なく、新入生同士で交流を深めてもらった。

6月16日と7月27日のオープンキャンパスでは「キャンパスツアー」を行い、多くの人に本学を目指してもらおうと、施設や学部・学科、プロジェクト共育を含む大学生活などを知ってもらうことに努めた。

6月28日には、五苑マルシン株式会社K&Kスクールの協力で「マナー講習会」を開き、マナーの大切さを多くの学生に学んでもらった。



大産大

奈良くるみさん 全米オープンでベスト32!!

人間環境学部スポーツ健康学科4回生の奈良くるみさんが、テニスのグランドスラム(4大国際大会)の一つである全米オープンで、自身最高成績となるベスト32を果たした。勝てばベスト16となる3回戦では、元世界ランク1位で、今大会第9シードのエレナ・ヤンコビッチ選手と対戦し、ミスが少なく精度の高いプレーで第2セットでは5-2でリードする健闘も見せたが、4-6、6-7(5)で惜しくも敗退した。今後の活躍に期待したい。

中村さん1500m2位 インターハイ陸上

大阪桐蔭
高校

大阪桐蔭高校陸上競技部3年生の中村祐紀さんが、7月31日に大分銀行ドームで行われたインターハイの1500mで、大阪高校記録を更新する好タイムで見事2位に輝いた。1月の日本ジュニア室内陸上大阪大会で1500m優勝、4月の織田記念陸上(広島)でも5000mで優勝しており、全国規模の大会で連続して好成績を残している。

中村さんは、どんな時も「勝ちしか考えない」という気持ちで大会に挑む。勝つイメージがしっかりできているからこそ、こそというときに真の力を発揮できるのだろう。陸上界で活躍する中村さんの今後の活躍から目が離せない!



大産大
附属高校

空手女子、メダル獲得 松原さん金、増田さん銅

内閣総理大臣杯 第56回全国空手道選手権大会(高校生女子)が7月13日、東京体育館で開かれた。産大附属高校3年の松原美咲さんは個人戦 形の部で堂々の優勝、同じく3年の増田美優さんは個人戦 組手の部で3位に輝いた。

松原美咲さん(写真右)
高校最後の全国大会だったので、去年負けた分も絶対に勝つという気持ちで試合しました。いっぱい練習してきて優勝できたので、うれしかったです。感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張りたいです。

増田美優さん(写真左)
高校最後で全国大会初めてのメダルを取れたのでうれしかったです。高校のクラブでは、主に組手を練習していたので、組手で結果を残せて良かったです。関係者の皆さんに感謝しています。

男子テニス部 健闘のベスト16

大産大
附属高校



200校近くが出場する大阪予選を勝ち上がり、上位2校に入った大産大附属高校男子テニス部は、平成25年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場し、団体ベスト16という好成績を残した。個人シングルスでは林大貴さ

ん(2年)がベスト16になるなど、大健闘を見せた。

大産大附属高校男子テニス部は2年連続、5回目のインターハイ出場で、大阪でも屈指の強豪校として注目されている。男子テニス部の今後に注目したい。

クラブ活動の記録

大阪産業大学

■バレーボール部

○関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(4/14～5/19各大学体育館)

【通常リーグ戦】3-1龍谷大、3-1大商大、1-3甲南大、3-0京産大、3-1関学大、3-1立命大、0-3近畿大
【上位リーグ戦】3位：6勝4敗(0-3甲南大、1-3近畿大、3-1立命大)

■硬式野球部

○阪神大学野球春季リーグ戦(5/6～31南港中央野球場など)

【1部】5位：4勝8敗1分(勝ち点2)

大体大2-6、1-4、甲南大2-0、0-3、4-2、関国大1-3、1-4、天理大1-2、3-5、関外大3-2、5-5(8回降雨コールド)、0-1、4-3

■剣道部

○大阪学生剣道選手権大会(4/21桃山学院大学体育館)

【女子個人】優勝：水森早紀(文コミ4回)

○関西学生剣道選手権大会(4/28舞洲アリーナ)

【女子個人】ベスト16：水森

※全日本学生剣道選手権大会出場権獲得

■バドミントン部

○大阪学生バドミントン選手権大会(4/9～20大阪市中央体育館)

【女子シングルス】ベスト4：白濱いづみ(スポーツ1回)

【男子団体】1部昇格

【女子団体】1部昇格

■空手道部

○第51回西日本大学空手道選手権大会(6/2大阪市立中央体育館)

【団体】男子：ベスト16・女子：ベスト8

○内閣総理大臣杯第56回全国空手道選手権大会(7/13・14東京体育館)

【団体】男子形：5位

■少林寺拳法部

○大阪府民大会(5/26大阪市立中央体育館)

【男子二部の部】優勝：奈良和記(生活環境3回)、谷口尊信(経済2回)

【女子二部の部】優勝：伊藤真華(生活環境3回)、幣圭奈子(経営1回)

【男女有段の部】優勝：倉松瑞樹(スポーツ3回)、高橋快(流通3回)

○第51回関西学生大会(7/15ベイコム総合体育館)

【自由組演武女子二段以上の部】3位：上野美咲(スポーツ4回)、倉松

【自由組演武男子初段の部】4位：山本朋幸(経済4回)・奈良

【自由組演武白・緑の部】4位：小西功泰(生活環境1回)、中川智徳(経営1回)

【単独演武段外の部】1位：堀江智久(生活環境2回)

■柔道部

○全日本ジュニア柔道体重別選手権予選大阪大会(5/5大浜体育館)

【個人】-66kg級 優勝：松下勇次(経営3回)、3位：仲埜逸平(スポーツ1回)

○関西学生柔道優勝大会(5/26尼崎ベイコム総合体育館)

【男子団体】1回戦敗退：3-4龍谷大

【敗者復活戦】6-0大商大、6-0甲南大、3(代勝)-3京産大

※全日本学生柔道優勝大会出場権獲得

■ゴルフ部

○関西学生女子連盟杯(4/24・25柳生カントリークラブ)

23位：守随麻衣(経済2回)〈84〉

32位：種池朱李(スポーツ2回)〈87〉

○関西学生2・3部校学校対抗戦(5/9～10有馬口イ

ヤルゴルフクラブ)

【2部】2位：625ストローク

○関西学生女子1部校学校対抗戦(5/15～16城陽カントリークラブ)

【団体】1部7位：348ストローク

※2部降格

○関西学生月例杯(5月度)(5/29千刈カントリー倶楽部)

優勝：金子将也(経済3回)〈75〉、3位：永橋克明(経済1回)〈79〉、6位タイ：小西祥平(経済4回)〈82〉、9位タイ：平野亮治(スポーツ3回)〈84〉

※上記学生は月例大会出場決定

○奈良県オープンゴルフ選手権大会(6/14～15花吉野ゴルフ倶楽部)

安浦一輝(経済1回)：1日目〈76〉・2日目〈73〉合計：149(アマチュア7位・プロアマ63位)

○関西学生月例杯(6月度)(6/19千刈カントリー倶楽部)

優勝：楠田栄紀(経済2回)〈76〉、2位タイ：金村俊徳(経済2回)〈77〉、2位タイ：空山侑誠(経済2回)〈77〉、4位：阪本貴之(経営4回)〈80〉、6位：垣内琢哉(経済2回)〈86〉 ※記載学生は月例大会出場決定

○関西学生ゴルフ選手権(予選)(7/2三木ゴルフ倶楽部)

〈75〉奥田健司(経済3回)、金子、空山、安浦〈76〉笹尾諒(経済1回)〈78〉高子風順(経済1回)〈79〉楠田、平野

※上記の学生は関西学生ゴルフ選手権出場権獲得

○関西女子学生ゴルフ選手権(予選)(7/4三木ゴルフ倶楽部)

〈71〉長谷川萌(経済3回)〈75〉種池〈76〉守随

※上記学生は関西女子学生ゴルフ選手権出場権獲得

○関西学生秋季女子2部校学校対抗戦(7/16KOMAカントリークラブ)

【団体】2部1位：223ストローク

※守随がMVPを獲得、1部入替戦出場権獲得

○関西学生月例杯(7月度)(7/27千刈カントリー倶楽部)

【男子】優勝：小西、5位タイ：松田好司(経済4回)、5位タイ：笹尾、7位：奥田

【女子】3位：守随

※記載学生は月例大会出場決定

■サイクリング部

○2013年度全日本RCS第1戦菜の花飯山ラウンド(4/20～21長野県飯山市)

【クラスC3A】9位：山岡峻平(交通機械2回)

【クラスC3B】4位：大倉隆慈(スポーツ3回)

■ライフル射撃部

○春季全関西学生ライフル射撃選手権大会(5/10～12能勢町立国体記念スポーツセンター)

【エアライフル・団体】1008点・9位：12校

【デジタルピストル・団体】939点・4位：12校

○西日本学生ライフル射撃選手権大会(6/13～16能勢町立国体記念スポーツセンター)

【10mDPS40M】968点・3位：29校

■テコンドー部

○第7回春川オープン国際テコンドー選手権大会2013(7/4～9韓国春川市ホバン体育館)

3位：江畑秀範(スポーツ3回)

■女子硬式庭球部

○第22回ミキブルーン神戸オープンテニス大会(4/2～7ブルボンビーンズドーム)

【女子シングルス】ベスト16：切本有紀(経済3回)

【女子ダブルス】準優勝：岡本佳奈(スポーツ3回)・齋藤絢(スポーツ3回)組

○ブリヂストン京都オープン2013(4/10～14小畑川中央公園テニスコート)

【女子シングルス】ベスト16：鈴木麻友(文コミ4回)

○第89回関西オープンテニス選手権大会(5/13～18鞠テニスコート)

【女子シングルス】ベスト16：鈴木

○第88回毎日オープンテニス選手権大会(5/20～25鞠テニスコート)

【女子シングルス】ベスト4：鈴木、ベスト16：岡本

【女子ダブルス】ベスト4：鈴木・横山菜里(文コミ4回)組、ベスト8：岡本・切本組

○平成25年度関西学生春季テニストーナメント大会(5/28～6/3鞠テニスセンター)

【女子ダブルス】ベスト8：鈴木・横山組

○平成25年度関西学生チャレンジテニストーナメント大会(6/8～13各大学テニスコート)

【女子ダブルス】ベスト16：山原萌子(商1回)・村上ひかり(経済1回)組、上田紗代(経営1回)・堀内夢(経営1回)組

○国民体育大会(香川県代表選考会一次予選)(6/22～23香川県総合運動公園テニス場)

【女子シングルス】1位：村上 ※一次予選通過、最終予選へ

○2013ダンロップ第82回東海中日テニス選手権(7/8～14東山公園テニスセンター)

【女子ダブルス】ベスト8：鈴木・横山組

■体操競技部

○第55回関西学生体操選手権大会(4/20～21和歌山県立体育館)

【男子団体】4位

○第63回西日本学生体操選手権大会(6/21～23豊田市総合体育館)

【男子団体】14位

※西川晃弘(電子情報1回)が全日本学生体操選手権大会への出場権獲得

■ソフトボール部

○第45回関西学生ソフトボール春季リーグ(女子)(4/6～5/4各大学グラウンド)

【3部】3位：5勝2敗0分／9校

【16-7京女大、16-1摂南大、8-7佛教大、18-0大府大、18-4四大大、0-12大青大、0-15同大】

○第45回関西学生ソフトボール春季リーグ(男子)(4/21～5/12万博記念公園) ※2部昇格

【3部B】1位：4勝0敗0分／5校 【10-0近畿大、25-0和歌山大、6-2京園大、13-0甲南大】入替戦6-5兵庫県大

○全日本学生ソフトボール選手権大会(予選)(5/4万博記念公園)2回戦敗退 【1回戦：不戦勝、2回戦：1-7立命】

■陸上競技部

○第90回関西学生陸上競技対校選手権大会(5/9～12長居第1陸上競技場)

【男子】4×100mR=2位：41.03 杉本薫(スポーツ3回)・堀本侑生(スポーツ2回)・有井勇貴(スポーツ2回)・野村諒(スポーツ2回)

400mH=2位：53"60 堤上総(経営4回)

ハンマー投げ=3位：47m55 西出大志(建築環境デザイン3回)

200m=6位：21"94 野村

4×400mR=8位：3'24.16 堤上・鳥居宏樹(スポーツ3回)・武田仁(スポーツ3回)・西垣真嘉(スポーツ2回)

■日本拳法部

○第17回西日本学生拳法選手権大会(4/28ボディメーカーコロシウム)【団体】準優勝：12校 ※1部昇格

今後の予定

団体名	大会名	日程	場所
赤十字ボランティア アメリカン フットボール部	日本赤十字社救急救急員養成講習 関西学生アメリカンフットボールリーグ 戦	9/9～11 8/30～11/30	大阪産業大学 中央キャンパス 王子スタジアム他
空手道部	第68回国民体育大会 第55回全関西大学空手道選手権大会	9/29～10/1 10/6	東京 龍谷大学
弓道部	第56回全日本大学空手道選手権大会	11/17	東大阪アリーナ
剣道部	関西学生リーグ戦 関西学生剣道優勝大会	9月上旬～11月上旬 9/22	各大学弓道場 大阪市立中央体育館
	第61回全日本学生剣道優勝大会	11/4	日本武道館
	第32回全日本女子学生剣道優勝大会	11/10	春日井市総合体育館
	第26回関西学生剣道新人大会	11/24	近畿大学記念会館
	関西学生月例大会	9/19	奈良柳生カントリークラブ
	関西女子秋季1部学校対抗戦	9/24・25	芦屋カンツリー倶楽部
	関西学生男子会長杯	10/7～9	大甲賀カントリークラブ
	関西学生女子会長杯	10/23・24	太子カントリー倶楽部
	第60回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権	10/29・30	千葉カントリークラブ
	関西学生男子・女子秋季新人戦	10/31	太子カントリー倶楽部
	第57回信天杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦	10/31～11/1	千葉カントリークラブ
	関西学生男子秋季1・2部校入替戦	11/6	グランデージゴルフ倶楽部
サッカー部	関西学生リーグ戦(前期後半戦) 関西学生リーグ戦(後期)	9/11・16 9/21～12/1	西京極総合運動公園補助競技場 他 西京極総合運動公園補助競技場 他
柔道部	全日本学生柔道体重別選手権大会 国民体育大会	9/28・29 10/5～7	日本武道館 東京武道館
日本拳法部	全・日本拳法総合選手権大会(個人) 第39回日本拳法龍峰杯優勝大会	9/15 10/6	大阪市立中央体育館 吹田市立武道館
	第29回全日本学生拳法個人選手権大会	10/27	名古屋市天白スポーツセンター
	第22回秋季大阪府民体育大会(団体)	11/10	門真スポーツセンターサブ
ハンドボール部	関西学生ハンドボール秋季リーグ戦	9月上旬～11月上旬	各大学体育館
バドミントン部	関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会(入替戦含) 関西学生バドミントン新人戦大会	9/14～10/1 11/11・19・20・26・27	大阪市立中央体育館 他 大阪市立中央体育館 他
バレーボール部	関西学生リーグ戦	9/8～10/27	各大学体育館
バスケットボール部	関西学生バスケットボールリーグ戦	8/31～10/20	各公営体育館
体操競技部	第45回関西学生体操新人選手権大会	11/9・10	兵庫県立総合体育館

中嶋浩二さん 世界に挑戦!!

(スポーツ健康学科3回)

『NJKF2013 5th ISKA 世界タイトルマッチ』にて、NJKF フェザー級王者・中嶋浩二(リングネーム：中嶋平八【誠至会】)がISKA ムエタイ欧州、UK MTF ムエタイ欧州、UK MTF ムエタイ英国フェザー級を制し、暫定王者となっているマシュー・ティウ(イギリス)とISKA 世界ムエタイスーパーフェザー級王座決定戦を行う。

皆様の応援よろしく申し上げます。

日時：2013年9月15日(日)

会場：たかいし市民文化会館アプラホール



阪駒祭 日程決定!!

第48代大学祭実行委員会委員長を務めさせていただきます、三辻光二郎です。今年の阪駒祭の日程は11月1～3日に決まりました。今年の阪駒祭のテーマは「work on the sparkle～輝け学生!～」というテーマです。来場者の方々もそうですが学生自身がイキイキと主体になって輝ける阪駒祭を盛り上げていくことを目指しこのテーマに決めました。来場者の方々に楽しんでいただけるよう実行委員が団結し、一味違った阪駒祭を作り上げていくので、みなさんもぜひお越しください。



大阪桐蔭高等学校

■硬式野球部

○全国高等学校選手権大会(8/8～17甲子園)ベスト16

■卓球部

○全国高等学校総合体育大会(7/30～8/3大分スポーツ公園大分銀行ドーム)【学校対抗の部(団体)】1回戦：3-2慶誠(熊本)・2回戦：0-3愛工大名電(愛知)【ダブルスの部】1回戦：長野祥太郎(3年)・瀬川賢矢(3年)組3-0敬徳(熊本)・2回戦：1-3専大北上(岩手)【シングルの部】1回戦：瀬川13-1尽誠学園(香川)・長野0-3慶誠(熊本)・2回戦：瀬川10-3明豊(大分)○近畿高等学校選手権大会(7/20～22奈良県立橿原体育館)【学校対抗の部(団体)】3位、2回戦：3-1生駒(奈良)・3回戦：3-1近大新宮(和歌山)・準々決勝：3-1龍谷大平安(京都)・準決勝：0-3東山(京都)【ダブルスの部】ベスト8：長野・瀬川組、【シングルの部】ベスト16：瀬川・長野

■陸上競技部

○全国高等学校総合体育大会(7/30～8/3大分スポーツ公園大分銀行ドーム)【男子1500m】2位：中村祐紀(3年)3分48秒76大阪府高校新記録【男子3000m障害】16位：小柳涼(3年)9分53秒63【男子5000m】細川隆太(3年)14分44秒54・予選敗退【男子110mハードル】萩尾竜也(2年)予選：14秒81、準決勝：15秒03・準決勝敗退、吉岡久志(2年)15秒08・予選敗退

○大阪高等学校陸上競技対校選手権大会(8/16長居第二競技場)【1年男子の部】優勝93点【2年男子の部】優勝：88点、男子総合：優勝192点

■ゴルフ部

○全国高等学校ゴルフ選手権大会(8/8三重県白山ヴィレッジゴルフコース他)【男子団体の部】35位【女子団体の部】23位

■日本拳法部

○全国高等学校選手権大会(8/8和歌山ビッグホエール)【女子個人】3位：谷南奈美(2年)

■女子バスケットボール部

○近畿高等学校選手権大会(6/21～23大阪市中央体育館)準優勝／1回戦：80-67和歌山信愛(和歌山)・2回戦：70-60奈良文化(奈良)・準々決勝：82-60京都精華(京都)・準決勝：92-76豊島(大阪)・決勝：66-86薫英女学院(大阪)

大阪産業大学附属高等学校

■男子テニス部

○平成25年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)(8/2～8博多の森)【団体】ベスト16【個人シングルス】ベスト16：林大貴(2年)

■少林寺拳法部

○2013年大阪高等学校春季少林寺拳法大会兼第40回全国高等学校少林寺拳法大会大阪府予選(6/16大阪市立都島工業高校体育館)【男子組演武の部】優勝：木戸海周(2年)・宮迫汰一(1年)【男子単独演武の部】優勝：木原結城(2年)【女子単独演武の部】優勝：笹川万稀(3年)※以上4名が全国大会へ出場

○全国大会(7/31東京都町田市総合体育館)【男子単独演武の部】7位入賞：木原【女子単独演武の部】9位入賞：笹川

■チアリーディング部(FIGHTING ANGELS)

○第22回関西選手権大会(7/15～8/2大阪府立体育館)【高等学校の部】：6位 ※上記の結果により、Japan Cup 2013 日本選手権大会出場

○Japan Cup 2013(8/23～25国立代々木競技場第1体育館)【フライデートーナメント高等学校の部】：15位

大阪産業大学附属中学校

■少林寺拳法部

○第5回大阪府中学校少林寺拳法大会兼第7回全国中学生少林寺拳法大会予選(6/9大阪市立矢田西中学校体育館)【男子単独演武の部】3位：木下慶一郎(2年)【女子単独演武の部】優勝：河原やよい(3年)・3位：西井怜奈(2年)※上記3名が全国大会へ出場

○全国大会(8/17・18香川県丸亀市立体育館)【女子単独演武の部】準優勝：河原

キャンパスセラピー

19



今年の絵画展で一番人気だった絵。題名は「ムー太郎の友だち」。ちなみに猫の名前がムー太郎です。

偽薬効果

人間環境学部文化コミュニケーション学科教授

中川 晶

たとえばホメオパシーという理論があります。19世紀はじめにドイツのハーネマンという医師が創始した方法で、化学の常識からすればとんでもない理論なのですが、今でも世界中にファンがいて、治療として用いている医師も少なくありません。

もっとも日本ではかなりうさん臭いと見られていて、2010年に日本医師会は禁止令みたいなのを出したようですけどね。ホメオパシーのどこが批判されているかというと、この理論では身体が症状を出すにはそれなりの理由があるので、やたらに止めてはいけないというのです。と、ここまではいいのですがここからが面白いんです。例えば熱があるときは、止めるのではなく発熱する物質を患者に与えれば身体が向かおうとしている方向を助けることになるので、効果的だということです。

でも、さすがに強烈に発熱するのは危ないと思ったのかどうか、ホメオパシーでは希釈すれば希釈するほど効果的という考え方をします。原液を百倍、千倍、そのまた百倍千倍とどんどん希釈すればするほど効果があると言います。読者の皆さんは無限希釈なんてあり得ないことはご存じかもしれませんが、つまり原液に含まれる分子が一個も含まれないくらい希釈したら、それは単なる水分子だけなので効くはずもありません。

こんなの当たり前なのに、なぜホメオパシーは人気があるのでしょうか？ ドイツでは今でも薬局の正面に堂々と「ホメオパシー薬あります」なん

て看板を出しています。理屈はどうあれ「効果がある」とファンは言います。確かにハーネマンの時代ではホメオパシーはかなり効果的な治療法だったようです。それは正統医学の方が荒々しすぎて、今から考えると治療がかえって病気を悪化させていたようです。

たとえばアメリカ初代大統領のジョージ・ワシントンの例は悲惨です。彼は1799年の冬に風邪を悪化させて喉が腫れ上がり、呼吸さえ苦しくなりました。そこで著名な医師が往診に来て、当時最も一般的であった正統医学の治療法である瀉血(血を抜くこと)を行いました。それでも治らないので、別の医者が次々やってきて、瀉血法を行い結局2リットルほど血を抜かれていました。その夜に大統領は息を引き取っています。

こんな時代だとホメオパシーのほうが効果的だったのは当たり前。ヒポクラテスはすでに紀元前4世紀に「まずは患者に害を及ぼさないこと」が肝心と書いています。ホメオパシーの効果がプラシーボ(偽薬効果)であるのは明らかなのですが、生き残っているのは治癒への願いが心理的に良い効果を及ぼすからなのかもしれません。だからといって筆者は全面的にプラシーボを勧めているわけではありません。プラシーボは悪徳商法にもつながりかねないし、危ない橋ではあります。しかし、無害なものが治癒効果を発揮するという現象はもう少し研究されてもいいかもしれませんよ。

編集後記

大学のドラゴンポートプロジェクトが日本国際ドラゴンポート選手権大会で3位入賞を果たすなど、「プロジェクト共育」の成果が見事に実を結びました▽前号で「偉大なる平凡人たれ」という学園の建学の精神について掲載しましたが、引き続き「学園の源〜瀬島学長が語る大産大ヒス

トリー〜」として、草創期からの学園の歩みを連載します。今回は1928(昭和3)年の大阪鉄道学校設立当時の状況を取り上げています。学園の原点を、ぜひご確認ください▽「ズームアップこの人!」は工学学部交通機械工学科で鉄道工学を専門とする大津山澄明教授に焦点を当てまし

た。同学科の中でも自動車工学は本学にとって看板的存在でしたが、「鉄道工学」を加えることで更なる発展を期するという思いから同コースが設置されました。初の卒業生誕生が待ち遠しいところで▽キャリアセンターでは、12月の就活解禁に向けて3回生対象の「就活」関連行事を

本格化しています。いわゆる入り口、出口は、大学の評価を左右する大変重要な部分ですが、残念ながら入り口に関する問題が発覚し、少なからず学生に動揺を与えたことは明かです。教職員はこのことを心して大学運営にあたらなければなりません。(総合企画室 峠 孝尊)